

ふるさと文化伝承館の現状と展望

1 登録博物館

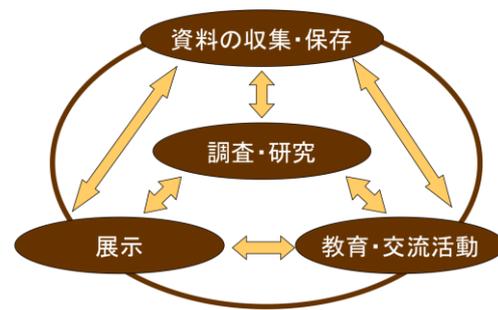
- ・2021年11月12日 博物館法に基づく博物館に登録
- ・市内で2番目の正式な公立博物館として認定。県内では21館目。

2 ふるさと文化伝承館の基本的役割

- 南アルプス市の歴史・文化の紹介
- 鋳物師屋遺跡（重要文化財）を中心とした市内の縄文文化の紹介
- 史跡御勅使川旧堤防遺跡群のガイダンス施設
- ○○博物館事業の拠点施設

3 現状分析

- ・博物館機能の中で、資料収集や情報発信、教育交流活動などは全国的にも高く評価される。
- ・その反面、基本的活動である資料整理、調査研究、展示などの活動が脆弱である（右図参照）。



博物館の4つの機能

4 登録博物館としての展望と課題

(1) 公立博物館としての役割強化

- ・バランスのとれた博物館機能の推進
- ・運営協議会等の設置
- ・他館との連携強化
- ・南アルプス市の歴史・文化の魅力の発信拠点

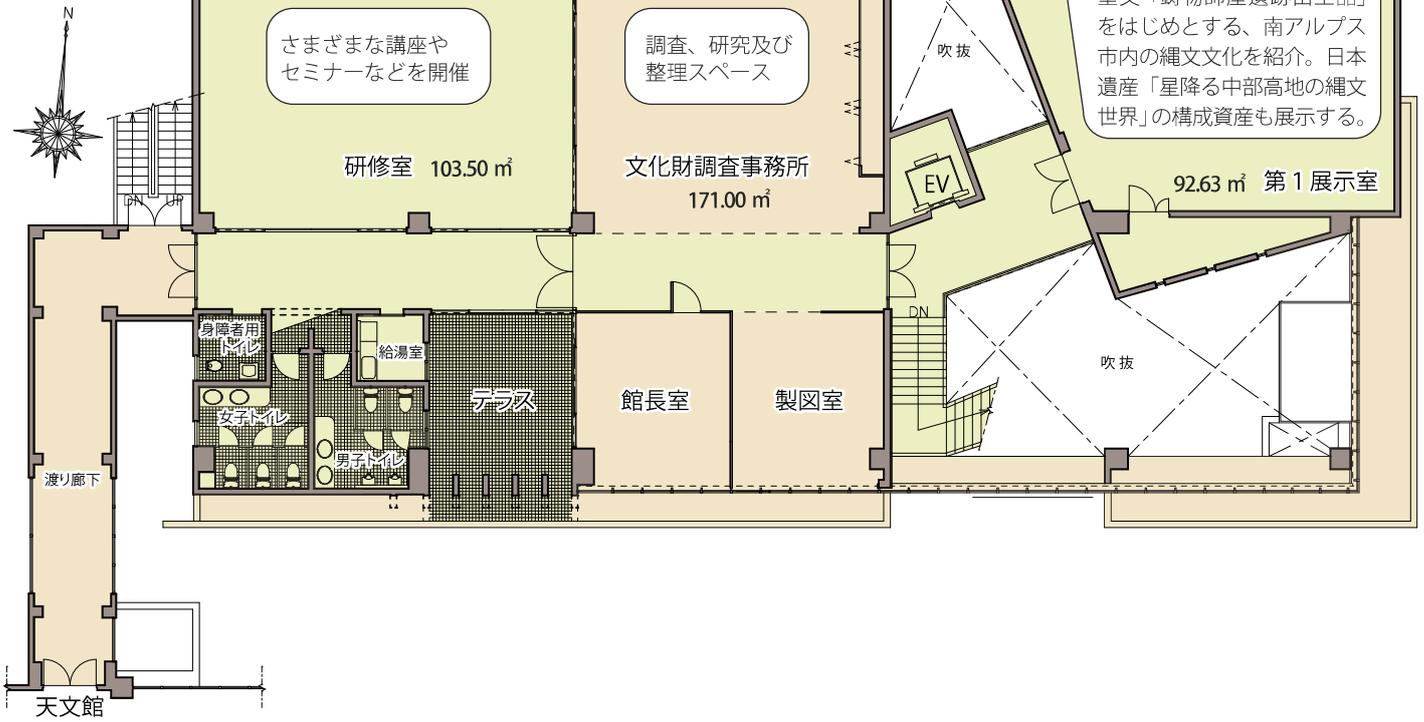
(2) 改善課題

① 資料の収集・保存

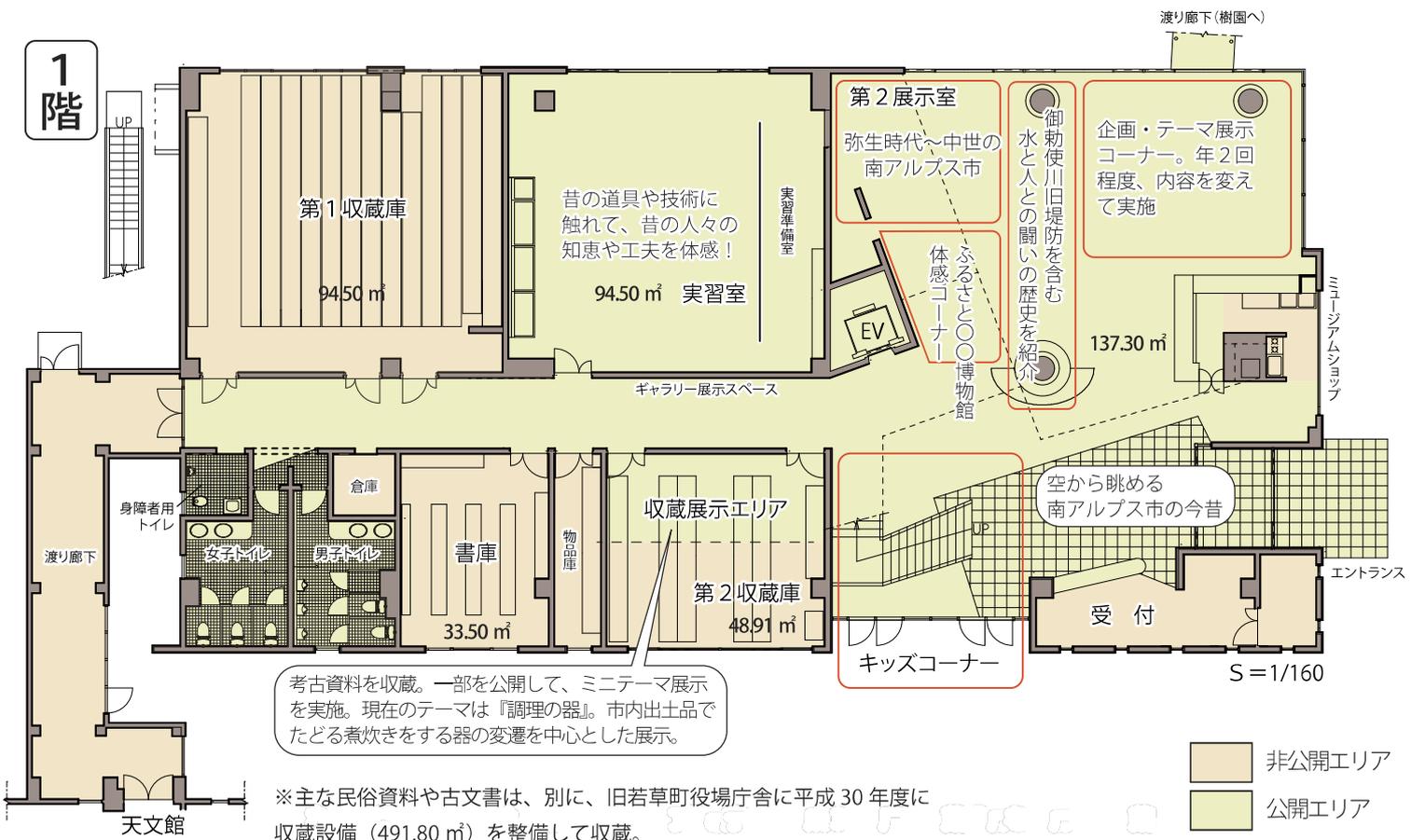
- ・○○博物館の継続的推進
- ・数万点にも及ぶ資料の継続的な整理、写真撮影
- ・データベース化
- ・館蔵資料のアーカイブ公開

- ② 調査研究
 - ・ 地域の課題に関する重点的な調査研究の強化
縄文、甲斐源氏、治水、地域の民俗文化など
 - ・ 大学機関等との連携（資料提供による研究者育成）
- ③ 展示
 - ・ 展示の充実
 - ・ 年2回程度の企画展開催
 - ・ 他館からの借用による比較展示
例：日本の円錐形土偶とラヴィとの比較展示 etc.
 - ・ 展示事業費・広報費の確保
 - ・ 図録の刊行
- ④ 教育交流活動
 - ・ 出前授業の円滑化（市民ボランティア等の活用）
 - ・ 学芸員実習の受け入れ（市民の人材育成）
 - ・ 体験ツアーやワークショップ事業の推進
 - ・ 市民とともに活動する沙龙的な活動の強化
→ 市民に開かれた博物館の実現
- ⑤ 文化財防災ネットワークの構築
 - ・ 市内の貴重な文化財を災害から守る取り組み

2階



1階



考古資料を收藏。一部を公開して、ミニテーマ展示を実施。現在のテーマは『調理の器』。市内出土品でたどる煮炊きをする器の変遷を中心とした展示。

※主な民俗資料や古文書は、別に、旧若草町役場庁舎に平成30年度に收藏設備(491.80 m²)を整備して收藏。

■ 非公開エリア
■ 公開エリア